

1

学習習慣確立のために 国語 現代文

「毎回の授業」

- ・教科書 改訂版国語総合 現代文編
- ・ノート（ルーズリーフは不可とする。ノートを用いること）
- ・国語辞典
- ・常用国語便覧

※以上4点は、毎回授業で持参すること。

「定期考査・長期休業明け実力テスト対策」

- ・核心漢字2500+語彙1000

（提出不要・各考査の漢字の出題範囲は別紙を参照すること）

「長期休業中の課題」

- ・3ステップオリジナル問題集 基礎現代文

（休み明けに教科担任に提出する。もちろん普段の学習として、自分のペースで取り組んでもよい。）

「予習の仕方」

- ①教科書を「読」する。

②分からなかった語についてノートの下方に記し、辞書を引き意味を記す。

③分からなかった漢字について練習する。

- ④四字熟語 常用国語便覧P494～500参照、対義語 類義語、ことわざ・慣用句（常用国語便覧P502～507）などがあればノート下に記しておく。

「授業中に取り組むこと」

- ①文章をしつかりと読み取る。

②自分の考えを持ち、自分の言葉で表現する。

「復習」

不要。授業をしつかり聞いていればそれが復習となるはずである。

授業を聞いて分からないことはメモしておき、しつこく質問せよ。

ノート作成例

手の変幻

（第1段落）

ポイント

文章を読む時は、まず題を必ず確認する

語句について
は辞書で引き
記しておく。

月岡卓行
△語句△

ミロのビーナス

魅惑的
（つまりは）両腕を失ってなければならない
美術作品の運命も
微妙な協力をしている

ポイント

つまり
すなわち
要するに
……など
この後ろが重要

〈発見されるまでの経緯〉

・メロス島で発掘

（現実性を強調）

（両腕）……生臭い秘密を場所にせしめる

（いや）

美しさのために無意識的に隠した。

国境と時代を超えらるため

・パリのルーブル美術館へ

ポイント

Aである
（いや）
Bである
（こちらが重要）

授業の
ポイントは
決して忘れない
ように板書
を工夫する。

・魅惑……人の心を引き
つけて迷わせること。
・あずかり知らぬ……
関わりを持たない。
・関知しない。

・特殊……限られたもの
にあってはまること。

普通……例外なく
すべての対象にあてはまる。
一般……（例外がある
ことを前提として）すべて
の対象にあてはまる。

（ここ）では

このスペース
を利用

漢字は空いている

スペースを利用

して練習する。